岩盤ボーリング柱状図

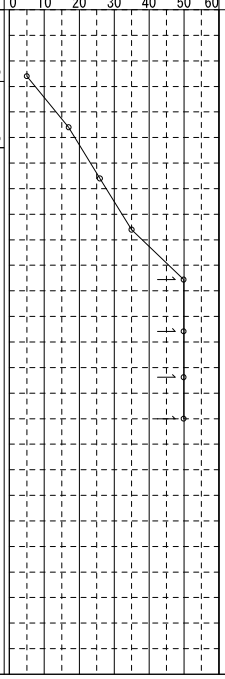
調　　査　　名	災害関連緊急砂防事業に伴う測量・設計業務委託（岡棟川）
事　業　・　工　事　名	
調査目的及び調査対象	砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.5	調査位置	広島県呉市音戸町先奥3丁目	北　緯	34° 09′ 20.6700″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所	調査期間	平成31年 1月16日～平成31年 1月18日	東　経	132° 31′ 00.1600″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	DL 34.03m	角度	180° 上 下 90° 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
地盤勾配	5° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦D-0型	
総掘進長	8.00m		エンジン	ヤンマー　NFD12	ポンプ　東邦BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名（模様）	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位／測定月日
1	32.43	1.60	SF	表土	茶褐							(100) (100)	斜面脚部に堆積する表土である。 土質は，細粒土～砂を主体としており，φ10～20mm程度の亜角礫を混入する。 表層部には，腐植物を混入する。	1/16 1.40
2			WG	まさ土	茶灰	w4	h4	D	VI	d		(100) (100)	外周を残す固結した状態で採取される。 基盤岩質由来の粗粒土を主体としている。（シルト混じり砂礫） 指圧にて凹むなどやや軟質である。	1/17 2.70
3												(100)		
4	29.23	4.80										C[0] (100)		
5			Gr	花崗岩	淡茶白	w3	h3	C	V	c	D	C[0] (100)	外周残しコア肌粗い。 岩組織を残すものの，衝撃にて砕け礫状コア主体となる。 深度方向に岩組織および節理などが明瞭となる。（節理角60～70度） GL-6.8m付近では，色調変化し軟質化している。（一部粘土化）	
6												C[0] (100)		
7												C[0] (100)		
8	26.13	7.90										C[0] (100)		
	26.03	8.00	Gr	花崗岩	茶褐	w1	h1	B	III	b	CL		比較的新鮮で硬質となり，短棒状コアで採取される。 節理沿いに亀裂があり，亀裂角度は70度と高角となっている。	
9														
10														
11														
12														
13														

標準貫入試験

深度－N値図



N値	深度	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
5	1.15	5		
	1.45	300		
17	2.15	17		
	2.45	300		
26	3.15	26		
	3.45	300		
35	4.15	35		
	4.45	300		
50以上	5.15	50	260	
	5.41	260		
50以上	6.15	50	280	
	6.43	280		
50以上	7.15	50	80	
	7.23	80		
50以上	8.00	50	0	
		0		

原位置試験

室内試験

削孔状況

削孔月日	削孔速度（cm/h）	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧（MPa）	回転数（rpm）	送水圧（MPa）	削孔水・送水量（L/min）	排水量（L/min）
1/16	100	90／ケーシング	打込み／シングル／メタル	0	0	0	W1/0	0
				9	150	0	W4/15	15
				15	200	0	W4/20	20
1/17	100	66	ダブル／ダイヤ	20	150	0	W4/25	12